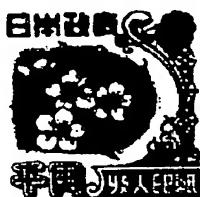


公開実用 昭和51-2946



(1,500円)

实用新案登録願 (口)

特許庁長官 齊藤英雄殿 昭和49年6月21日

考案の名称 ロールペーパー用マガジン



考案者

居所 神奈川県南足柄市中沼210番地
富士写真フィルム株式会社内

氏名 秋賀賀美

(ほか3名)

实用新案登録出願人

住所 神奈川県南足柄市中沼210番地

名称(520) 富士写真フィルム株式会社

代表者 平田九州男

代理人

居所 東京都港区西麻布2丁目26番30号
富士写真フィルム株式会社内

電話(406)2540

氏名 (6642) 弁理士 深沢敏男

(ほか1名)

添付書類の目録

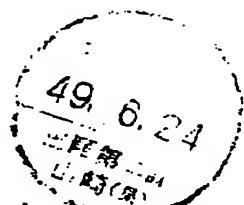
(1) 明細書	
(2) 図面	
(3) 委任状	
(4) 願書副本	

1	通
1	通
1	通
1	通

49-073669

方
式
注

大山



明細書

1. 考案の名称

ロールペーパー用マガジン

/字削除

2. 実用新案登録請求の範囲

ロールペーパに写真焼付を行う写真プリンター
に用いられるロールペーパマガジンに於て、

- a . ロールペーパ送出し用ローラ対、
- b . 該ローラ対へ回転を付与する回転伝達手段、
- c . 該ローラ対のペーパ送出し機能を解除する解
除手段、
- d . マガジン外部に設けられ、前記回転伝達手段
及び解除手段に接続する操作手段、
- e . 該操作手段を一方向に回転させることにより
ローラ対をペーパ送出し方向へ回動させ、逆
方向へ回動させることにより解除手段を操作
する、

を含むことを特徴とするロールペーパマガジン。

3. 考案の詳細を説明

本考案はロールペーパーを使用する写真プリ
ンタ用マガジンに関するものである。詳しくは、

本考案は従来のロールペーパー用マガジンの上記のような種々の欠点を除去した改良されたロールペーパー用マガジンを提供することを目的とするものである。本考案のかかる目的は、ロールペーパー用マガジンに、ロールペーパーを送り出すためのローラ対と、このローラ対をマガジン外部から操作する手段と、前記送り出し用ローラ群のロールペーパー送り出し機能を解除する手段とを備え、前記ローラー群操作手段をその本来の操作方向と送り方向に操作することにより、前記送り出し機能解除を行なわせるように配設することによつて達成される。以下、図面に基いて本考案を詳細に説明する。

第1図は本考案の一実施態様を示すロールペーパー用マガジンのカバーを取り外した側面図である。図において、30はマガジン函体でペーパー送り出し部25を有する。1はロールペーパー、2は操作用つまみ、20は操作用つまみにより操作可能なロールペーパー送りローラー、21はフリーローラーで前記送りローラ20と対をなす。ロ

—ラ20. ラ1より外側にあるローラ対24は遮光ローラである。第2図は第1図のA-A'断面図で、本実施態様の要部を示す図である。第2図において、2は操作用つまみである。操作用つまみ2は一方向回転クラッチ^{以下}（一方向クラッチ^{二字挿入}という）、ブツシユ3、スプリング4を介して、主軸31に支承されている。また、操作用つまみ2には、ブツシユ3に付設されたガイドピン3'が通る溝2'が設けられている。更に、操作用つまみ2には、スプリング7, 7'によつて常に押されているピン6, 6'と、このピンのストップバー8が取付けられている。10はピン6, 6'に入る穴10a, 10a'を有する円板で、マカジン函体30に固定されている。中空軸9は一端にフランジ部を有し、他端にはカムノ2を有する。ペアリング16, 16'により主軸31に対して回動自在に支承されている。カムノ2には、ピン13によりリンク棒14が回動自在に支承されて居り、リンク棒14の他端は、ロールペーパー送りローラー20の軸を回転自在に保持している。

主軸31は一端を前記ペアリング16、中空軸9を介して部材11によりマガジン画体30に支承され、他端はペアリング16"を有するハウジング15によりマガジン画体30に支承されている。5'は主軸31をペーパ送り方向へのみ回動させる一方向クラッチである。更に、主軸31の先端に設けられたブーリー19と、ロールペーパー送りローラー20に設けられたブーリー18との間にベルト17が架設され、主軸31の回転をロールペーパー送りローラー20に伝達する如く構成されている。また、ロールペーパー送りローラー20は、軸受部23、23'に設けられたスプリング22、22'により、相対するフリーローラー21に押しつけられる如く構成されている。

次に、本実施態様のマガジンの作動について説明する。ロールペーパーをマガジンに装填し、ロールペーパーの先端を送りローラ21、20間に挟持した状態にセットした後、写真プリンターの本件に組込む。操作つまみ2をロールペーパーを送り出す方向に回すと、この巾は溝2'に噛み合

つているガイドピン ϑ_1 、ブッシュ ϑ_3 を介して、一方向クラッチ ϑ_5 に伝達される。この一方向クラッチ ϑ_5 は操作つまみ ϑ_2 をロールペーパーを送り出す方向に回したときにはこの回転を主軸に伝達し、操作つまみ ϑ_2 をこれと逆方向に回したときには、この回転を主軸に伝達しない。このため、操作つまみ ϑ_2 をロールペーパーを送り出す方向に回すと、主軸 ϑ_1 が回転しブーリーノク、ベルトノタ、ブーリーノスを介して、ロールペーパー送りローラー ϑ_6 を回転させ、相対するフリーローラー ϑ_7 との間のロールペーパー ϑ_8 を遮光ローラ対 ϑ_9 を通過して送り出す。尚、ロールペーパー送出し部 ϑ_5 は必ずしも突出している必要はない。また操作つまみ ϑ_2 を逆方向に回すと、一方向クラッチ ϑ_5 は前述の如く、主軸 ϑ_1 に対してはフリーとなり、主軸には力を与えない。更に主軸 ϑ_1 は第二の一方向クラッチ ϑ_{10} を有して居り、この第二の一方向クラッチは主軸 ϑ_1 の逆方向回転を防止するよう取付けてあるので、主軸 ϑ_1 は絶対に逆回転しない。従つて、ロールペーパーを引き戻すよう

な作動をすることはない。一方操作つまみ2に取付けられているピン6・6'はスプリングク.ク'によつて常に中空軸9のフランジ部に押し付けられている。このフランジ部には第3図に示す如きテーパー面を持つ溝9a・9a'が、前記ピン6・6'に相対する位置に設けられている。操作つまみ2(第3図には図示せず)を、ロールベーパーを送り出す方向と逆方向に回す(第3図矢印B方向)と、主軸3ノは停止したままで、操作つまみ2のみが回り、操作つまみ2の内側のピン6・6'が前述の中空軸9のフランジ部のテーパー溝9a・9a'に導かれる。操作つまみ2を更に回すと、ピン6・6'はテーパー溝の端部に当り、ここでピン6・6'と中空軸9のフランジ部との相対的移動は終了する。しかし、操作つまみ2を更に回し続けると、ピン6・6'を介して、中空軸9が主軸3ノとは無関係に回動する。中空軸9の回動に伴い、カム1ノが回動し、ピン1ノ3を介して支承されている。リンク棒14が押し下げられる。このリンク棒の動きにより、スプリング

-1-

22・22'を介して支承されているローラーベー
パー送り出しローラー20が押し下げられ、相対
するフリーローラー21から離れ、ロールペーパー^一
を送り出す機能が解除される。操作つまみ2を
更に回すと、中空軸9のフランジ部のテーパー溝
に噛み合っているピン6・6'は円板10の穴1
0a・10a'に達し、ここに落ち込み、これに
より本実施態様のロールペーパー送り出し手段は
ロールペーパーの移動が自由になつた状態でロック
され、通常のロールペーパー用マガジンの機能
のみを有する形となる。従つて以後、プリンター
本体での宣真プリント操作に伴うロールペーパー^一
移送にも何ら障害となることはない。

なお、このロック状態は、操作つまみ2を第2
図矢印C方向へ引いて、ピン6・6'を円板10
の穴10a・10a'から抜き出しながら回すこと
により容易に解除することができ、この操作で
中空軸9が回動し、カム12が回動するためリンク
棒14によって押し下げられていたロールペーパー^一
送りローラー20を再びロールペーパーを送

り出す位置に同時に復帰させることができる。従つて、マガジン内のロールペーパーが供給終了した場合には、新しいロールペーパーを装填してから上記のロック解除操作を行なえば直ちに次のプリント作業を続けることができる。本考案によるロールペーパー用マガジンは、以上述べた如き特徴ある機能を有している。実際の使用に当つては、ロールペーパーを装填したマガジンをプリンターにセットした後、マガジンの操作つまみを回してロールペーパーの先端がプリンター本体のペーパー送りローラーに達するまで送り込む。次に、操作つまみを逆に回してマガジンのロールペーパー送り機能を解除ロックする。これで、準備は完了し、マガジン内のロールペーパーはプリンターの作動に従つて、引き出され、プリント作業が行なわれる。この場合従来のプリンターに見られたようなロールペーパー先端が曝光されることなく、ロールペーパー装填時のロールペーパーのロスは非常に少くなることが理解されよう。

〔12〕 本考案はロールペーパーを自動的に巻取りリ

／半插入

ルへ装填できるような写真プリンターに利用すれば、ロールペーパーのロスが皆無となる。

以上述べた如く本考案のロールペーパー用マガジンによれば、ロールペーパーを装填したマガジンをプリンターにセットした後は、マガジンの操作つまみを操作するだけで、必要なロールペーパーを取り出すことができ、ロールペーパーの装填時の操作を著しく簡略化することができるほか、ロールペーパーを先端を除いて曝光させずに取扱うことができるため、ロールペーパーのロスも大幅に減少させることができる。また、ロールペーパーの装填時にプリンター本体の前面カバーを開く必要がないためプリンター内部にゴミが入つたり、これが原因して不良写真プリントを作る恐れもなくなり、写真プリント作業の能率向上及び写真プリントの品質向上に大きな効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施態様を示すロールペーパー用マガジンの側面図、第2図は第1図のA-A'断面図、第3図は操作つまみのロック機構を

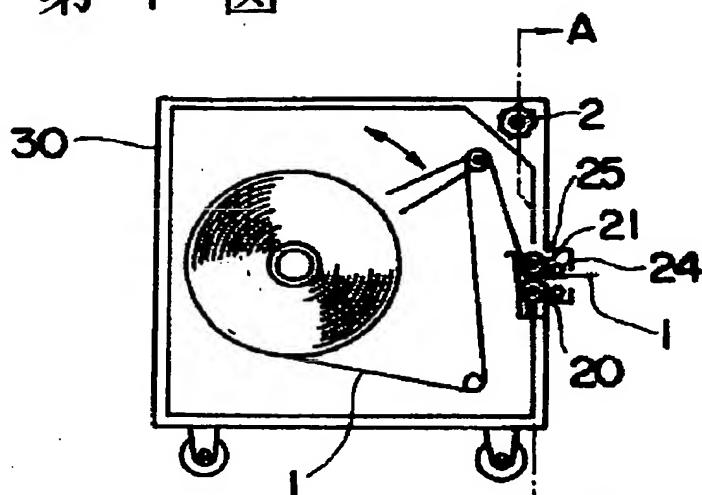
示す斜視図である。1…ロールペーパー、2…操作
作つまみ、20…ロールペーパー送りローラー、
21…フリーローラー、

実用新案
登録出願人 富士写真フィルム株式会社

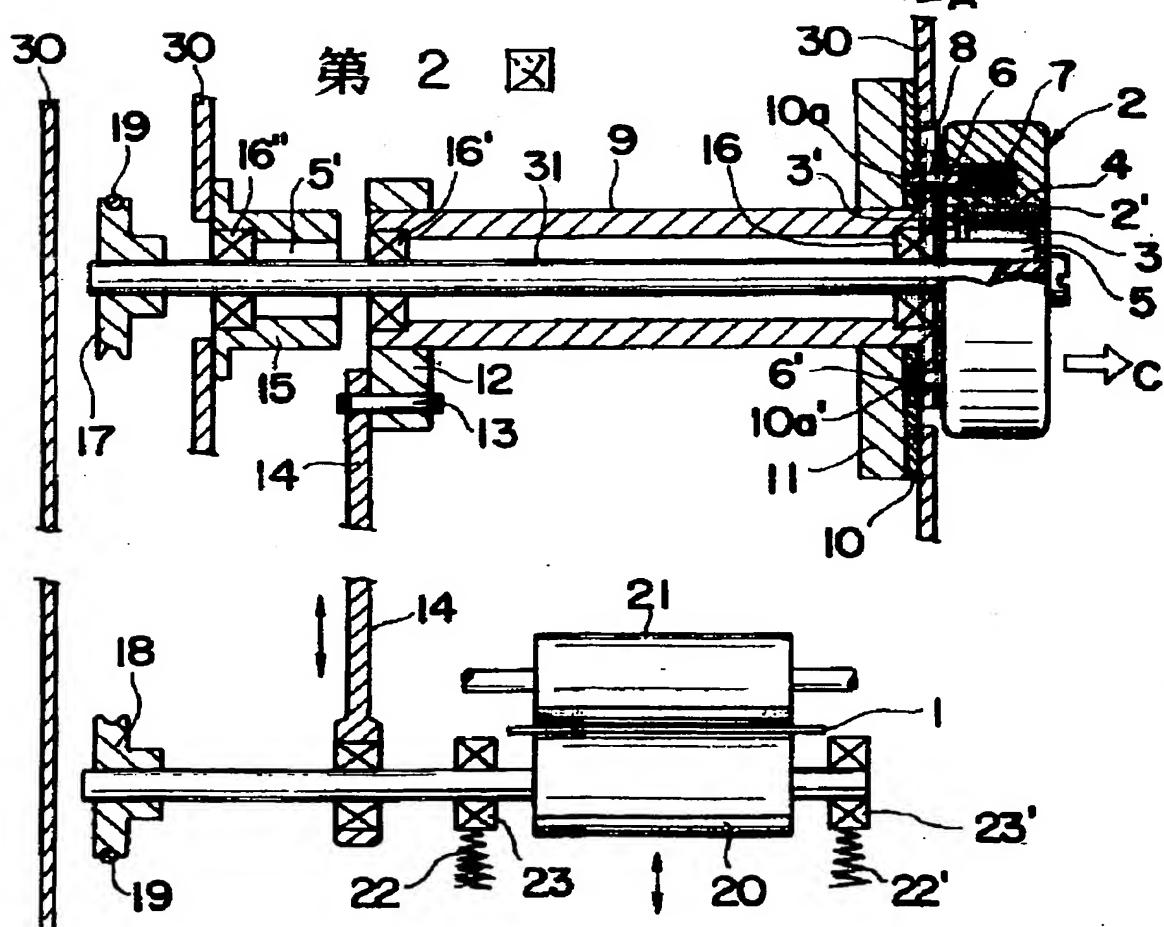
代理人 弁理士 深沢 敏男

(ほかノ名)

第 1 図

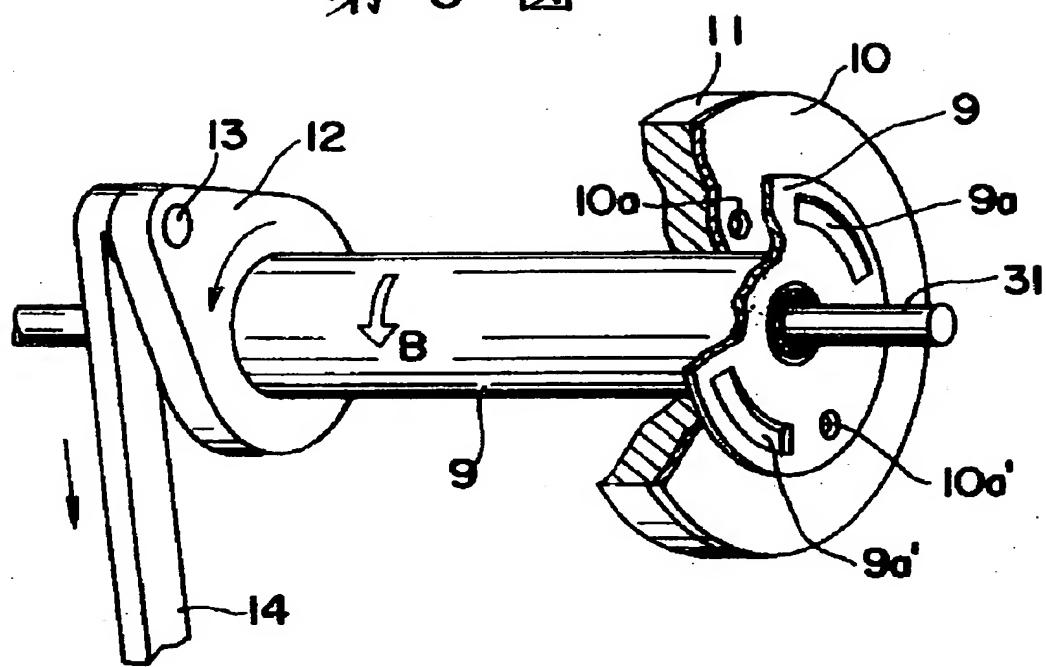


第 2 図



2946 1/2

第 3 図



2946 $\frac{3}{2}$

前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

46

(1) 考案者

居所 神奈川県南足柄市中沼 210番地
富士写真フィルム株式会社 内

氏名 木村 勉

同所 木村 勉

居所 埼玉県大宮市板竹町1丁目324番地
富士写真光機株式会社 内

氏名 芝崎 駿夫

(2) 実用新案登録出願人

12字削除

(3) 代理人

居所 東京都港区西麻布2丁目26番30号
富士写真フィルム株式会社内

氏名 (7803) 弁理士 大石皓一



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.